

## 技術評価報告書

申込者： 岸和田製鋼株式会社 代表取締役社長 鞠子 重孝  
大阪府岸和田市臨海町20番地  
岸和田金属株式会社 代表取締役社長 片山 重吉  
大阪府岸和田市臨海町20番地

技術名称： スーパーフープ 685、スーパーフープ 785 設計施工指針

当法人「建築構造技術審議委員会」において慎重審議の結果、2018年11月2日付けの技術評価書(SABTEC 評価 15-02R1)の通り、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、本技術は妥当なものであると判断されたことを報告する。

2018年11月2日

一般社団法人  
建築構造技術支援機構  
代表理事 益尾 潔

### 建築構造技術審議委員会

委員長	窪田敏行	近畿大学	名誉教授
委員	岸本一蔵	近畿大学建築学部建築学科	教授
〃	田才 晃	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院	教授
〃	田中 剛	神戸大学大学院工学研究科	教授
〃	勅使川原正臣	名古屋大学大学院環境学研究科	教授
〃	三谷 勲	神戸大学	名誉教授

### スーパーフープ 685、スーパーフープ 785 設計施工指針 専門部会

主査	田才 晃	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院	教授
委員	窪田敏行	近畿大学	名誉教授



## 技術評価書

申込者： 岸和田製鋼株式会社 代表取締役社長 鞠子 重孝  
大阪府岸和田市臨海町 20 番地  
岸和田金属株式会社 代表取締役社長 片山 重吉  
大阪府岸和田市臨海町 20 番地

技術名称： スーパーフープ 685、スーパーフープ 785 設計施工指針

技術概要： スーパーフープ 685、スーパーフープ 785 は、岸和田製鋼(株)が製造する大臣認定の高強度せん断補強筋用鉄筋棒鋼 KH685、KH785 を用いた鉄筋コンクリート造柱、梁の 685N/mm<sup>2</sup> 級および 785N/mm<sup>2</sup> 級高強度せん断補強筋であり、溶接閉鎖型、フック形式およびキャップタイ形式として用いることができる。  
スーパーフープ 785 設計施工指針は、スーパーフープ設計施工指針として、GBRC 性能証明第 10-10 号(2011 年 2 月 9 日)取得後、多数の製造実績を有し、その後、岸和田製鋼(株)、岸和田金属(株)では、スーパーフープ 685 を開発し、スーパーフープ 685 設計施工指針について SABTEC 評価 15-02(2015 年 9 月 25 日)を取得している。これらより、SABTEC 評価 15-02R1 は、スーパーフープ 685 とスーパーフープ 785 を合わせたスーパーフープ 685、スーパーフープ 785 設計施工指針(2018 年)について行われている。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2018 年 11 月 2 日

一般社団法人  
建築構造技術支援機構  
建築構造技術審議委員会  
委員長 窪田 敏行

### 記

評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。  
スーパーフープ 685、スーパーフープ 785 設計施工指針、説明資料および関連資料  
これらの資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。

評価内容： スーパーフープ 685 およびスーパーフープ 785 を用いた鉄筋コンクリート造柱、梁は、長期荷重時に使用上支障を来たすび割れおよび短期荷重時に修復性を損なうひび割れを起こさず、スーパーフープ 685、スーパーフープ 785 設計施工指針に定められたせん断終局耐力を有すると判断される。

## 技術評価内容

### 申込者

岸和田製鋼株式会社  
代表取締役社長 鞠子 重孝  
大阪府岸和田市臨海町20番地  
岸和田金属株式会社  
代表取締役社長 片山 重吉  
大阪府岸和田市臨海町20番地

### 技術名称

スーパーフープ 685、スーパーフープ 785 設計施工指針

### 適用範囲

- (1) 適用部位 鉄筋コンクリート造柱、梁  
(2) 材 料

せん断補強筋 (スーパーフープ 685) 種 類 : KH685  
(大臣認定番号 MSRB-0087、平成 26 年 11 月 6 日)  
(スーパーフープ 785) 種 類 : KH785  
(大臣認定番号 MSRB-0061、平成 23 年 1 月 27 日)  
呼び名 : スーパーフープ 685、スーパーフープ 785 とともに、  
K10, K13, K16  
コンクリート 種 類 : 普通コンクリート  
設計基準強度 : 21 N/mm<sup>2</sup> 以上、60 N/mm<sup>2</sup> 以下

### 技術評価に際して行われた実験等の概要

スーパーフープ 685 については RC 柱(5 体)、RC 梁(10 体)、スーパーフープ 785 については RC 柱(6 体)、RC 梁(14 体)の実験を行い、それぞれ RC 柱の実験では主として高軸力下の終局耐力および変形性能、RC 梁の実験では損傷短期許容せん断力、終局耐力および変形性能を確認している。

また、スーパーフープ 685、スーパーフープ 785 とともに、各 4 体、計 8 体の RC 基礎梁の実験を行い、基礎梁横補強筋のフック付き重ね長さの妥当性を確認している。

### 技術評価の主な審議事項

技術評価の主な審議事項は、以下の通りである。

- 1) スーパーフープ 685 とスーパーフープ 785 を合わせたスーパーフープ 685、スーパーフープ 785 設計施工指針(2018 年)の妥当性
- 2) 設計施工指針(2018 年)7 章「構造規定」におけるスーパーフープ 685、スーパーフープ 785 を用いた基礎梁横補強筋のフック付き重ね継手の妥当性

## 技術評価の経過

2018年7月27日開催の第36回建築構造技術審議委員会(以下、本委員会と略記する)において、申込者提出の技術資料について検討し、詳細検討は、専門部会を設けて行うこととした。専門部会では、本委員会での指摘事項を踏まえて修正された技術資料について、慎重に審議を行い、結果を2018年11月2日開催の第37回建築構造技術審議委員会に報告した。

建築構造技術審議委員会では、申込者提出の技術資料について慎重に審議を行い、本技術は妥当なものであると判断した。

以上